

# 12月議会を傍聴して

## 12月議会のキーワード

中島 牛越 邦夫

12月定例議会一般質問が14日・15日に開催された。今回は議長を除く議員全員が質問に立ち、町民の暮らしと町政に対する質疑が行われた。

討論のキーワードの一つが、「費用対効果」にあると感じた。財政健全化を最優先に掲げる勝山町政の基本姿勢に加えて、町税の落ち込み、不明確な地方交付税となれば、何事も歳出削減的回答が先に来るのはやむを得ないと感じた。だが、「費用対効果」というあいまいな表現で切り捨てられていいものだろうか。

### 日本共産党池田ファンクラブ 定例総会 新年度方針と新役員を決定



中野さんがあいさつ  
「総選挙・参議院選挙では池田ファンクラブに大変お世話になつた。政治を変えるために皆さんの方で共産党を大きく変えたのに皆さんのばしてほしい」と訴えました。

第2部の懇親会では、駆けつけてくれた中野さんがあいさつ。  
「総選挙・参議院選挙では池田ファンクラブに大変お世話になつた。政治を変えるために皆さんの方で共産党を大きく変えたのに皆さんのばしてほしい」と訴えました。

会長 太田 効  
事務局長 村端 浩  
幹事 山本 伸一  
米沢 加奈子

### 新会長に太田さん

会田ファンクラブは12月5日、2010年定例総会懇親会をひらき、新年度の方針を決めるとともに、新しい役員を選出しました。これには会員35名が出席。また総選挙・参議院選挙に立候補した中野さんがあいさつ。最初に挑戦する服部久子議員がそれぞれ決意を述べました。

この総会では、来年春の町議選勝利に全力をあげること、ファンクラブニユースの発行体制を会員の協力でいつそう強化することなどが強調されました。

池田ファンクラブは12月5日、2010年定例総会懇親会をひらき、新年度の方針を決めるとともに、新しい役員を選出しました。これには会員35名が出席。また総選挙・参議院選挙に立候補した中野さんがあいさつ。最初に挑戦する服部久子議員がそれぞれ決意を述べました。

## 八幡神社の「十二神社」は12の神社？

### ごたえ 「十二」は地名ですか

「池田町の文化財」には次のように書かれています。

「当十二神社は、かつて池田町一丁目地籍字十二に祭祀(さいし)されていた無格社十二神社で、祭神は土の神、埴安比売之命(はにやすひめのみこと)である。この十二神社の由緒については現在のところ不明である。神社合併令により明治41年11月13日に一丁目社地より合祀(ごうし)された」

初めてこの名前を聞く人は、12の神社が集まつたのかとか、12番目の神社かしらと思ってしまいます。

実際は、「字十二」という地籍名だったんですね。この神社は明治41年の神社合併(がっぺい)によって八幡神社の相殿(あいどの)になり、九龍神が八幡社に合祀されて現在に至っています。

町内の舞台(山車)8台が曳(ひ)かれることで有名な祭りは、八幡神社ではなく十二神社の祭礼儀式なんですね。

それにしても、「字十二」とはどこだったんでしょうか。どうやら、豊町にある町営1丁目団地付近が十二社の地籍だったようです。

## 雑学うんちく

新会長 太田 効  
つよし  
これ以上の悪化を止めさせ、自らの暮らしと地域を守り、住みやすくえていく活動が重要となっています。身近なところから一步ずつ前進していくましょう。

みなさんのご支援・ご協力をいただき、楽しい活動が展開できればと願っています。

安曇野にも本格的な冬将軍が訪れ、一段と冷え込んでしまいました。去る12月5日の総会で会長に選任されました。微力ながらファンクラブの発展と政治革新、暮らし向上にむけ力を 尽くしたいと思います。

長引く不況と夏の猛暑、秋の長雨など異常気象に見舞われ、農作物の不作、さらには米価の低落などにより、くらしがいつそう厳しくなつています。その一方で法人税5%引き下げや証券優遇税制延長など大企業・大資産家優遇策が加速されています。

民主党は、昨年の総選挙で示された政治を変えたいといふ國の総意を踏みにじつて、旧自公政権と同じ路線に限りなく接近しています。

12月定例議会一般質問が14日・15日に開催された。今回は議長を除く議員全員が質問に立ち、町民の暮らしと町政に対する質疑が行われた。討論のキーワードの一つが、「費用対効果」で多用された「費用対効果」にあると感じた。財政健全化を最優先に掲げる勝山町政の基本姿勢に加えて、町税の落ち込み、不明確な地方交付税となれば、何事も歳出削減的回答が先に来るのはやむを得ないと感じたが、「費用対効果」というあいまいな表現で切り捨てられたとえば、安曇野ハーフマラソンの中止、文化祭・公民館活動の縮小など、多角的な検証なしに「効果」を評価できない、すべきでないと思う。

議会で争点になったのは「町長の方針で来年4月に向

## 介護保険料がぶぶな！（前）

### 2年後に現行の29%もの引き上げ

町議会議員 山本 久子

「予算が節約できるし、現体制でうまくやれているから副町長は必要ない」と2年数ヶ月にわたつて副町長人事を拒否してきたのに、何故考えを変えたのか町民は理由を知りたい。しかも予算編成というこの時期に人事を行えば混乱は避けられないというのに。

「サポートセンター」、「松本糸魚川高規格道路」、「美しい村連合加盟」しかり、議会を傍聴しなければ何も分からな

いでは情けない。

け、委嘱された14名の運営議会委員による大詰めの検討が進められていた。11月29日の第5回運営協議会に出席を求められた町長は、今までの検討経過を全て否定する回答を行つたため、準備室長の辞表提出に至つたようだ。

センター開設にあたつて町長がトップダウンで打ち出した「来年度ゼロ予算、専任職員なし、公民館の一隅」という方針は「費用対効果」以前の問題ではなかろうか。

次のキーワードは「情報公開の無さ」である。会期最終日に「副町長を置くことを人事案件として



質問に立つ山本久子議員(12月14日)

「介護保険料月500円」とある。

信濃毎日新聞11月20日の掲載記事です。25%の引き上げだそうです。

北アルプス広域ではどうなのかも、試算を聞きました。

現在、第4段階の基準額は3870円。それが500円以上になるというので計算すると29%もの引き上げになります。ぎやっ！ 本当にびっくりです。

そこで引き上げの理由を議会で聞きました。

「利用者数の増加」、「人当たりの利用額の増加」、「特養など介護施設の整備拡充」などが原因との返事でした。高齢者が増えれば施設が重くなら利用量が増え、要介護者が増えれば施設が足りなくなることは最初から分かつていてのことです。

介護保険に対する国庫負

担比率は1985年までは80%だったのに、いわゆる臨調改革によって50%に減らされ、2000年の介護保険制度発足により25%にまで減らされました。

国は、国庫負担割合を減らしていくながら、「保険料引き上げがいやなら、利用者への負担増・給付減は避けられない。どちらをえらぶのか」と圧力をかけてきました。

らしていきながら、「保険料引き上げがいやなら、利用者への負担増・給付減は避けられない。どちらをえらぶのか」と圧力をかけてきました。

さりとて、エビスの縮小など、負担増と給付減のメニューを選択肢として列挙したのです。

次号では特養に申し込んでも入れない待機者の実態について報告します。